

2019年度事業概要

2019年4月



国土交通省中部地方整備局

高山国道事務所

目 次

1. 高山国道事務所の使命	1
1-1. 魅力・活力あふれる飛騨地域の実現	3
1-1-1 地域間の交流・連携を活発にする道づくり	3
1-1-2 使いやすく快適で円滑な道づくり	6
1-2. 様々な危機に対応できる 安全・安心な地域づくり	12
1-2-1 災害に強い安全・安心な道づくり	12
1-2-2 災害支援	22
1-2-3 「道の駅」による地方創生拠点の形成	24
2. 高山国道事務所の概要	25
2-1 高山国道事務所2019年度事業費	25
2-2 2019年度の事業内容	26
2-3 高山国道事務所管内事業箇所	27
2-4 高山国道事務所の組織及び職員構成	28

1. 高山^{たかやま}国道事務所の使命

魅力・活力があふれる安全・安心な飛騨^{ひだ}地域 ～飛騨^{ひだ}の魅力を世界へ伝えるための道づくり～

飛騨^{ひだ}地域は、飛騨^{ひだ}高山・下呂^{げろ}・白川郷^{しらかわごう}・奥飛騨^{おくひだ}温泉郷といった世界に通用する有数の観光資源を有しています。

近年では、「高山祭の屋台行事」、「古川祭の起し太鼓と屋台行事」を含む日本の「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産の登録、外国人観光客誘致に向けた観光周遊ルート（昇龍道プロジェクト、サムライルート・北陸飛騨^{ほくりくひだ}3つ星街道）の設定や北陸新幹線開業、2027年のリニア中央新幹線開通予定など、産業振興に期待が寄せられています。

一方、山岳地域である飛騨^{ひだ}地域は、近年の局地的な降雨や記録的な降雪などの自然災害により、橋梁の流出や倒木による通行止めが発生し、集落の孤立や物流ネットワークの寸断など日常生活への影響にとどまらず、産業活動の妨げとなっています。

周辺地域と連携しつつ、このような課題に対応するためには、東西・南北軸のネットワークの形成による観光期の交通渋滞緩和、安全で円滑な交通の確保、災害発生時の迅速な支援が必要です。

このため、高山^{たかやま}国道事務所では、「魅力・活力あふれる飛騨^{ひだ}地域の実現」、「様々な危機に対応できる安全・安心な地域づくり」という使命の下、地域づくりに貢献します。

魅力・活力あふれる飛騨^{ひだ}地域の実現

【地域間の交流・連携を活発にする道づくり】

北陸^{ほくりく}と首都圏^{ちゆうぶ じゆうかん}を結ぶ中部縦貫自動車道、太平洋側と日本海側を繋ぐ国道41号の整備により、「産業競争力を高める」、「安全で快適な空間」のネットワークを形成し、産業振興を支えます。

【使いやすく快適で円滑な道づくり】

渋滞対策や交通安全対策を推進することにより、観光期等の交通集中による渋滞が招く地域生活への影響を緩和し、円滑な交通の確保に貢献します。

様々な危機に対応できる安全・安心な地域づくり

【災害に強い安全・安心な道づくり】

防災対策等を推進することにより、道路の安全な通行を確保し、災害時等における集落の孤立化を防ぎ、物資輸送路の確保等に貢献します。

【災害支援】

大規模な自然災害等に際して被災状況の把握や被災地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に進めます。

魅力・活力があふれる安全安心な飛騨地域を目指して

石川県金沢市(兼六園)



岐阜県白川村(白川郷)



北陸新幹線(長野～金沢)
(平成27年3月14日開業)



長野県松本市(松本城)



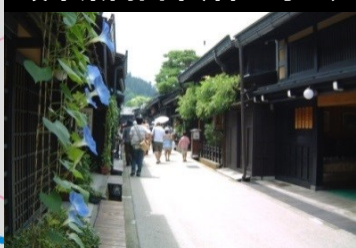
長野県

松本

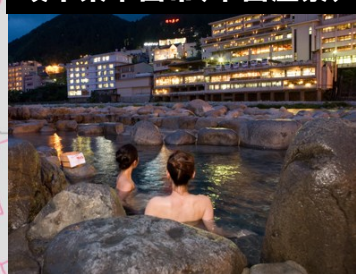
関東方面

サムライルート・北陸飛騨3つ星街道
世界遺産や国宝、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンに3つ星で紹介されている我が国屈指の観光資源を結ぶルート
⇒ 関東と北陸を結ぶネットワーク形成・強化で、産業・観光の魅力・活力向上を向上。

岐阜県高山市(古い町並)



岐阜県下呂市(下呂温泉)



静岡県

リニア中央新幹線
(2027年開業予定)



中部方面

中部国際空港

愛知県



【凡例】

一般国道	— 国道41号
	— その他国道
高速	— 開通済
	— 未開通
地域高規格	— 開通済
幹線道路	— 未開通
	○ 調査中
鉄道	— 新幹線
	— リニア

1-1. 魅力・活力あふれる飛騨地域の実現

1-1-1 地域間の交流・連携を活発にする道づくり

北陸と関東方面を結ぶ中部縦貫自動車道、太平洋側と日本海側を繋ぐ国道41号の整備により、「産業競争力を高める」、「安全で快適な空間」のネットワークを形成し、産業振興に貢献します。

(1) 北陸と関東方面を結ぶ東西軸の強化

北陸と関東方面を結ぶ東西軸の一部を担う中部縦貫自動車道が整備されることにより、高速交通サービスの提供、高山市内の交通混雑の緩和、さらには地域産業振興や観光リゾートとしての地域発展の支援等に寄与します。

<中部縦貫自動車道の整備により更なる観光客の獲得が期待>

飛騨地域周辺では、平成26年度に北陸新幹線(長野～金沢間)の開業により、金沢～高山間や富山～奥飛騨間のバス本数が増便し、飛騨地域と北陸方面との結びつきがさらに強くなっています。

さらに、中部縦貫自動車道が整備されることにより、飛騨地域が関東方面と北陸方面を結ぶネットワークの中心(ハブ)としての機能を果たし、観光資源を相互に結びつけることで、エリア(面)や軸(ルート)の観光となり、関東方面と北陸方面との結びつきがより一層強くなります。

特に、高山～新宿間では、所要時間が約50分短縮され、輸送コストも低下し、関東方面からの更なる観光客の獲得が期待でき、北陸方面との広域的な周遊観光が可能となります。



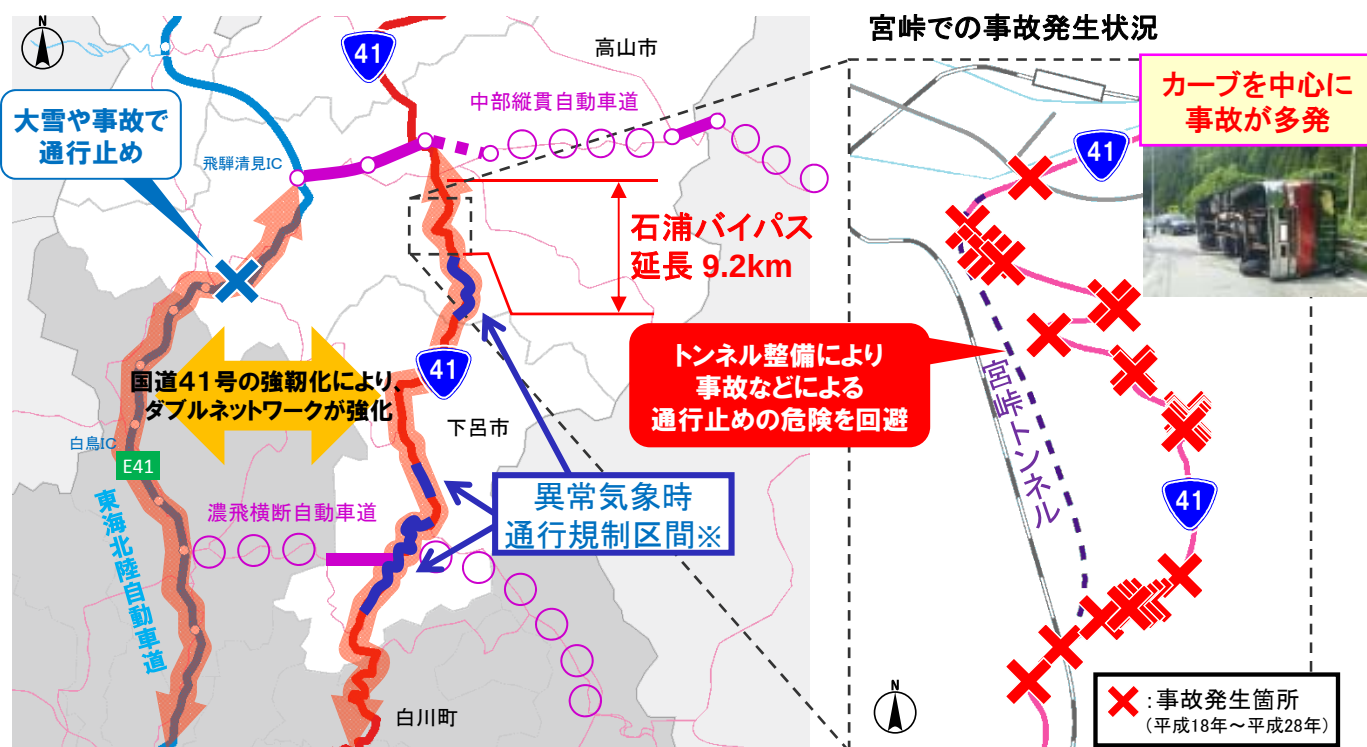
（２）太平洋側と日本海側を繋ぐ南北軸の強化

太平洋側と日本海側を繋ぐ南北軸である国道41号が整備されることにより、東海^{とうかい}北陸自動車道^{ほくりく}とのダブルネットワーク化が図られ、国道41号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を図ることができます。

＜国道41号の強靱化による物流の信頼性確保＞

国道41号と東海北陸自動車道^{とうかいほくりく}の貨物車交通量は、近年増加傾向にあり、物流面において重要な役割を担っています。

しかし、高山～下呂間の国道41号では、全面通行止めが5年間（平成25年1月1日～平成30年12月31日）で52回発生し、1回あたりの平均通行止め時間は約3.7時間に及んでいます。また、並行する東海北陸自動車道^{とうかいほくりく}でも、大雪や事故による通行止めが発生しており、国道41号の強靱化が必要となっています。国道41号の強靱化と東海北陸自動車道とのダブルネットワークにより、通行止めの危険性が減少し、物流の信頼性確保に寄与します。



大雨による事前通行規制



大雪により宮崎で車両が立ち往生(平成27年)



※ 異常気象時通行規制区間

異常気象時による災害の危険から道路利用者を守るため、過去の記録などを元にそれぞれ規制の基準等を定め、災害が発生する前に通行規制を実施する区間です。

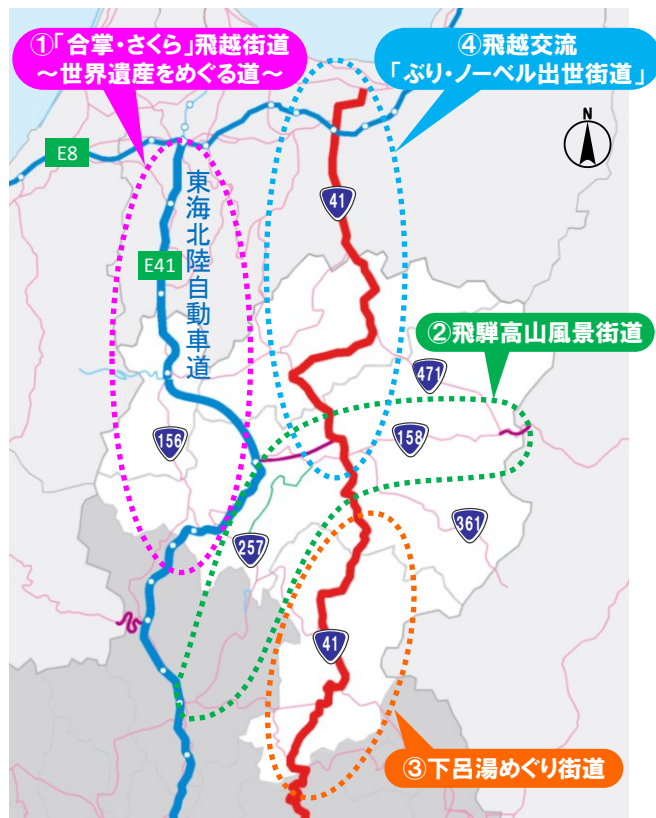
(3) 日本風景街道

日本風景街道は、郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、もって、地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の再興の一助となることを目的とします。

- ①「合掌・さくら」飛越街道～世界遺産をめぐる道～
- ②飛騨高山風景街道
- ③下呂湯めぐり街道
- ④飛越交流「ぶり・ノーベル出世街道」



「合掌・さくら」飛越街道の植樹活動



高山国道事務所管内の日本風景街道

地域のねらい

①「合掌・さくら」飛越街道～世界遺産をめぐる道～ 世界遺産である「白川・五箇山合掌造り集落」を中心に、自然・歴史・文化・風景などを通して、「訪れる人」との豊かな交流により地域の活性化を図るとともに、豊かな自然環境を保全しながら、美しい空間の形成を図る事を目的とする。  荘川桜	②飛騨高山風景街道 高山市街地及びその周辺に存在する自然・歴史・文化・風景などを通して、「訪れる人」との豊かな交流により地域の活性化を図るとともに、豊かな自然環境を保全しながら、美しい空間を創出する事を目的とする。  温泉施設・北アルプス
③下呂湯めぐり街道 日本三大名泉である「下呂温泉」を中心に存在する自然・歴史・文化・風景などを通して、「訪れる人」との豊かな交流により地域の活性化を図るとともに、豊かな自然環境を保全しながら、美しい空間の形成を図る事を目的とする。  下呂温泉	④飛越交流「ぶり・ノーベル出世街道」 豊かな自然やぶり・ノーベルをテーマにしたイベントを多くの人々に知ってもらい、歴史ある街道を軸として県境を越えた交流の活性化を図る事を目的とする。  笹津橋

1-1-2 使いやすく快適で円滑な道づくり

渋滞対策を推進することにより、観光期等の交通集中による渋滞が招く地域生活への影響を緩和し円滑な交通の確保に貢献します。

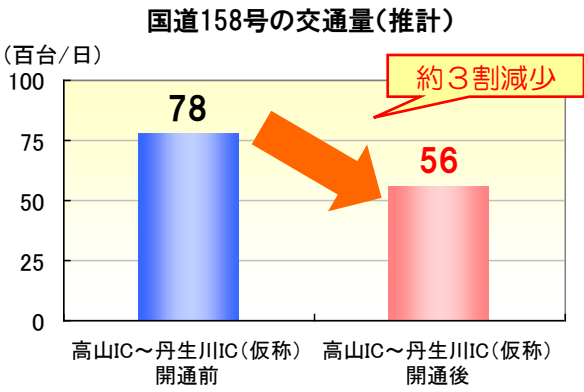
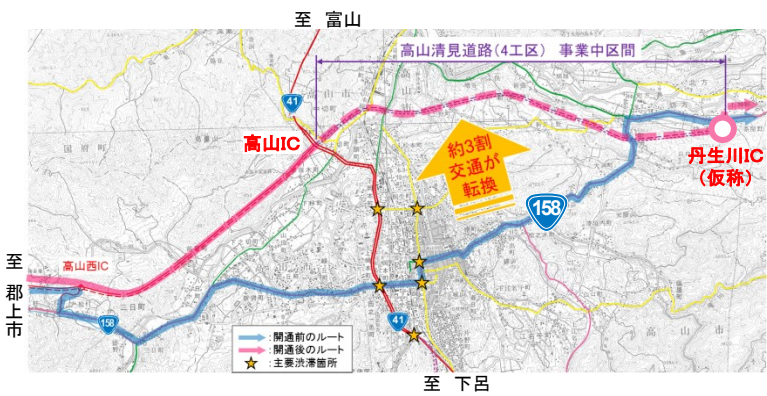
使いやすく快適で円滑な道づくりを目指すため、観光期に交通が集中する高山市街地^{たかやま}の渋滞緩和対策を行っていきます。

(1) ハード面による渋滞対策

使いやすく快適で円滑な道づくりを目指すため、高山市街地の国道158号や周辺道路の整備を実施していきます。

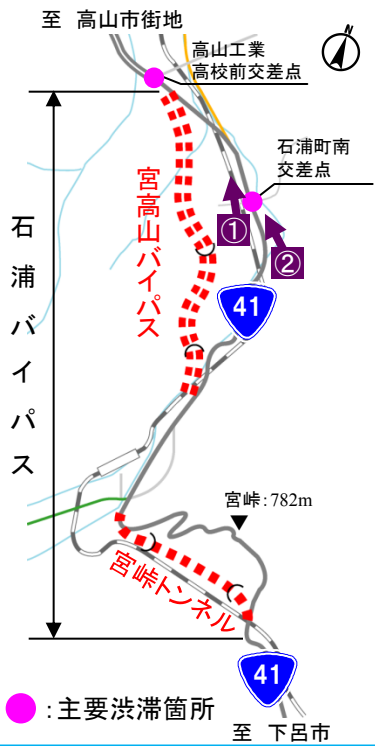
<高山市街地を通過する車両の分散(中部縦貫自動車道(高山清見道路))>

中部縦貫自動車道(高山清見道路)の整備により、高山市街地を通過する交通の転換を図り、市街地の渋滞緩和に寄与します。



<高山市の渋滞緩和対策(石浦バイパス)>

石浦バイパスの整備により、高山市～下呂市間のアクセス性向上に寄与します。



（2）高山市街地の観光渋滞緩和へ向けた対策の実施

高山市街地において、高山祭やGW時に発生する観光渋滞緩和に向けて、「おすすめルート」の提供、「高山市街地までの所要時間情報の提供」、「市街地周辺駐車場への案内看板の設置」などの早期に効果が発現するソフト対策を実施していきます。

<国道158号の交通渋滞を緩和する取組み(例)>

■チラシによる渋滞回避おすすめルートの情報提供及び駐車場状況の予測情報の提供



■HP上での高山市街地までの所要時間情報の提供

○高山へ向かう場合の方面を選択

名古屋から 大阪から 東京から 富山から 金沢から

○高山からお帰りの場合の方面を選択

名古屋へ 大阪へ 東京へ 富山へ 金沢へ



③次に、カレンダーの日付をクリックすると、道路の混雑状況に応じた出発時刻ごとの所要時間が表示されます。

道路の混雑状況 通常 非常に混雑

平成30年4月【名古屋から高山へ】

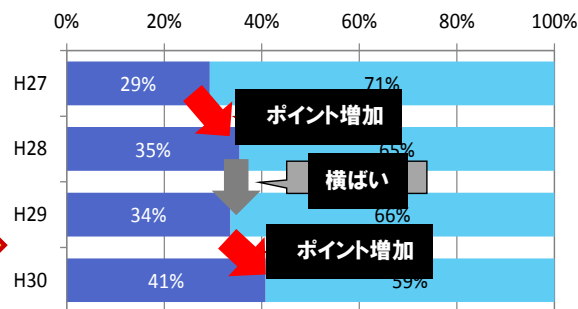
日	月	火	水	木	金	土
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

※カレンダーの所要時間は、過去の所要時間のデータから今年の混雑状況を予測したものです。実際の所要時間は、当日の混雑状況によって変わります。余裕をもってお越しください。

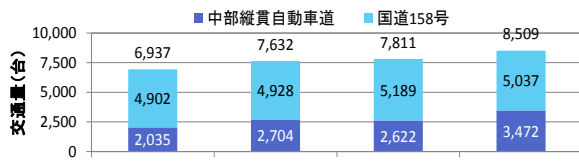
■取り組みによる経路選択の結果

【中部縦貫自動車道と国道158号の分担率】

中部縦貫自動車道の分担率は平成28年から平成29年は横ばいであるものの、平成27年以降増加傾向にあり、取り組みの効果が表れている



国道158号と中部縦貫自動車道の交通量の分担率



国道158号と中部縦貫自動車道の交通量

■ たかやま きよみ高山清見道路 ちゅうぶ じゅうかん（中部縦貫自動車道）

特に観光期の高山市街地では、通過交通と地域内交通が混在し、激しい渋滞が発生しています。現在は、市街地の渋滞緩和に向け、高山ⅠC～丹生川ⅠC（仮称）間の工事を実施しています。

※歩行者の他、自転車等の軽車両や原動機付自転車、125cc以下の自動二輪車の通行ができない道路



② 至 丹生川IC(仮称)

至 飛驒清見IC

—8—

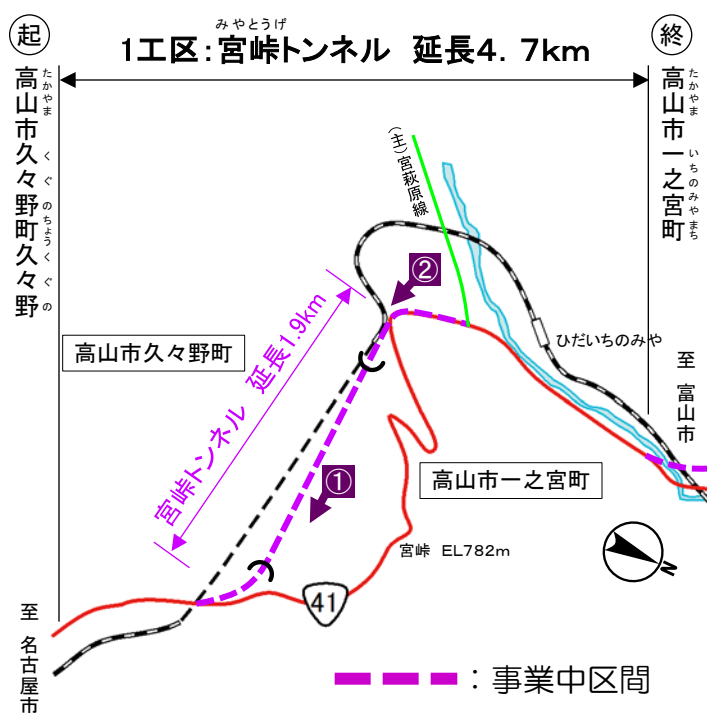
いしうら みやとうげ **石浦バイパス（1工区：宮峠トンネル）**

2020年度 開通見通し

いしうら みやとうげ たかやま くぐのちょう くぐの たかやま いちのみやまち
 石浦バイパス（1工区：宮峠トンネル）は、高山市久々野町久々野～高山市一之宮町間の延長4.7kmの幹線道路です。

みやとうげ みやとうげ
 宮峠トンネル区間の宮峠は、標高が782mあり、急勾配や急カーブが連続し、横転事故や大雪によるスタックが発生するなど、交通の難所となっています。トンネルが整備されることで、冬期通行の安全性・信頼性が向上します。

たかやま くぐのちょう くぐの たかやま いちのみやまち
 本年度は、高山市久々野町久々野～高山市一之宮町間の2020年度開通を目標に、改良工、舗装工、環境調査、水文調査、関係機関協議を推進します。



高山～名古屋間の交通難所（宮峠）



宮峠トンネル貫通式（2018年12月9日）



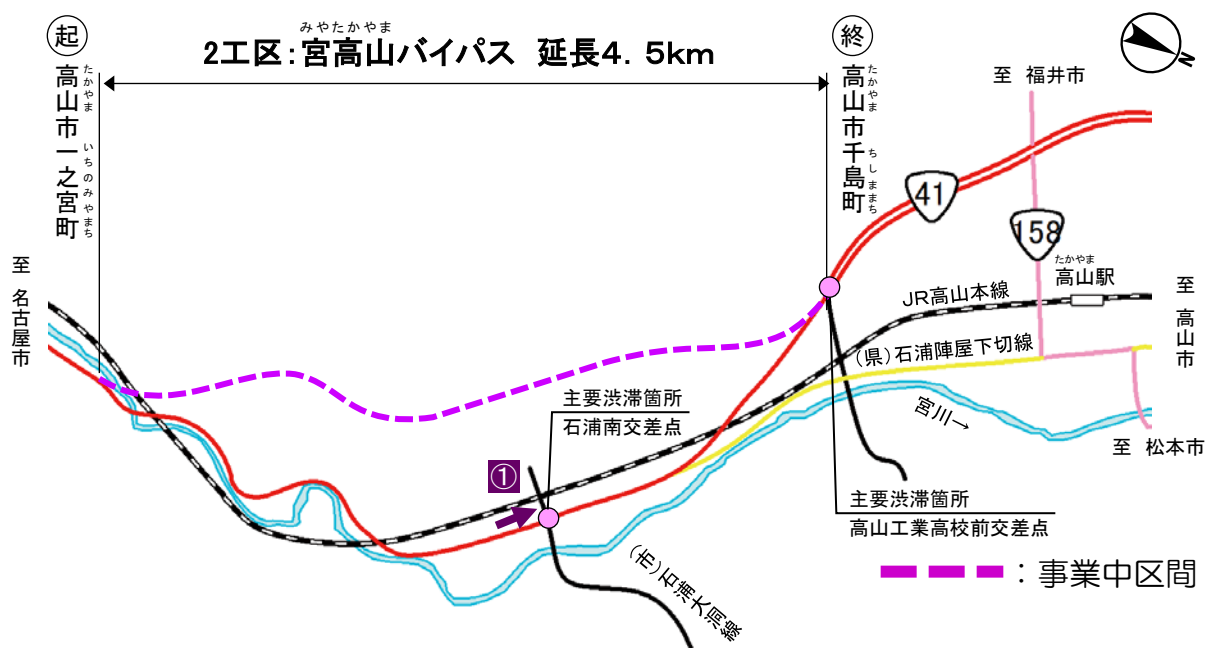
宮峠トンネル坑口部周辺の状況

■石浦バイパス（2工区：宮高山バイパス）

石浦バイパス（2工区：宮高山バイパス）は、高山市一之宮町～高山市千島町間の延長4.5kmの幹線道路です。

宮高山バイパス区間では、石浦地区周辺で朝夕の通勤時間帯や観光期などに渋滞が発生します。また、一之宮地区周辺では、落石危険箇所があり安全な交通を妨げる恐れがあります。バイパスが整備されることにより、渋滞の緩和や安全な通行が確保されます。

本年度は、引き続き高山市一之宮町～千島町間の用地買収、測量、用地調査、トンネル設計、環境調査、水文調査、地質調査、関係機関協議を推進します。



主要渋滞箇所の回避



主要渋滞箇所：石浦町南交差点の渋滞発生状況

<石浦バイパスの整備による冬期の安全・信頼性の高い道づくりに貢献>

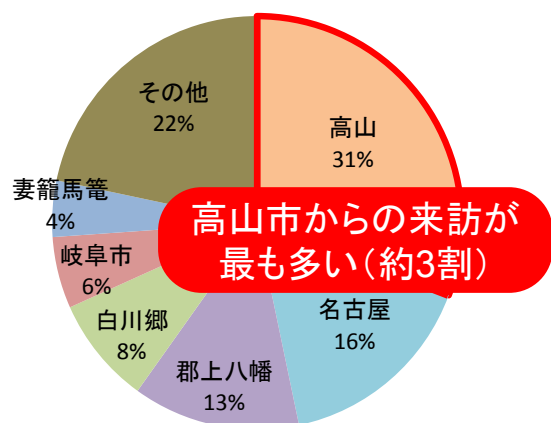
- ◇冬期の下呂温泉の宿泊客数は約30万人であり、約3割（約10万人）が高山市から来訪
- ◇高山市と下呂市間では、国道41号を利用する特急バスが運行しており、石浦バイパスが整備されることにより、高山市～下呂市間の安全性・信頼性が向上し、観光産業の活性化を支援



■冬期の宮峠の交通状況



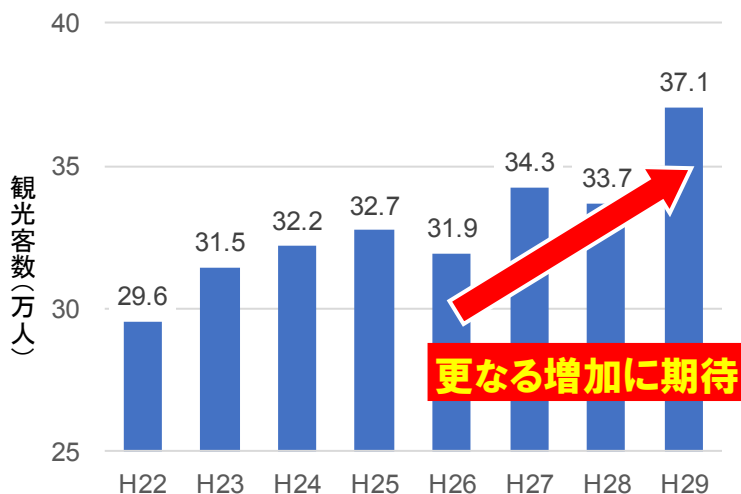
■下呂市への来訪者割合(年間)



高山市からの来訪が
最も多い(約3割)

資料: 下呂市来訪者調査(H26)
モニター数 n=2,454

■冬期の下呂温泉の宿泊客数の推移



更なる増加に期待

資料: 下呂市観光統計(12月～3月の宿泊者数を集計)

1-2. 様々な危機に対応できる安全・安心な地域づくり

1-2-1 災害に強い安全・安心な道づくり

防災対策等を推進することにより、道路の安全な通行を確保し、災害時等における集落の孤立化を防ぎ、物資輸送路の確保等に貢献します。

(1) 災害に強いインフラの提供

豪雨等による道路への被害を軽減し、落石のおそれのある箇所において防災対策を実施することにより、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を目的に防災事業を積極的に進めています。

落石対策として、落石の発生が予測される斜面の浮石や転石を対象に発生源対策を実施する落石予防工や、斜面からの落石を道路に被害がないように対策を実施する落石防護工を施工します。

防災事業の実施

防災対策等を推進することにより、道路の安全な通行を確保し、災害時等における集落の孤立化を防ぎ、物資輸送路の確保や雨量規制区間の短縮など、地域産業の活性化に貢献します。



落石予防工



落石防護工



落石防護施設

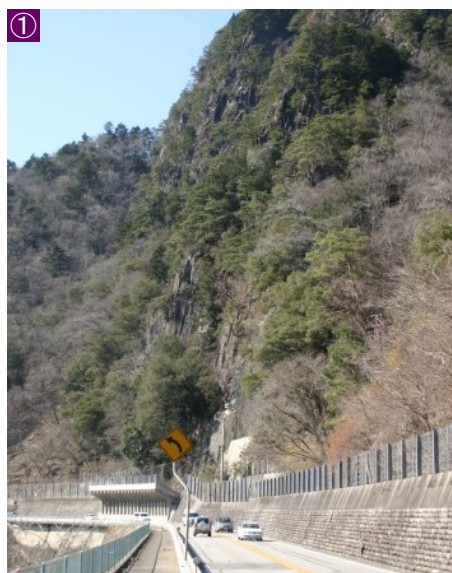
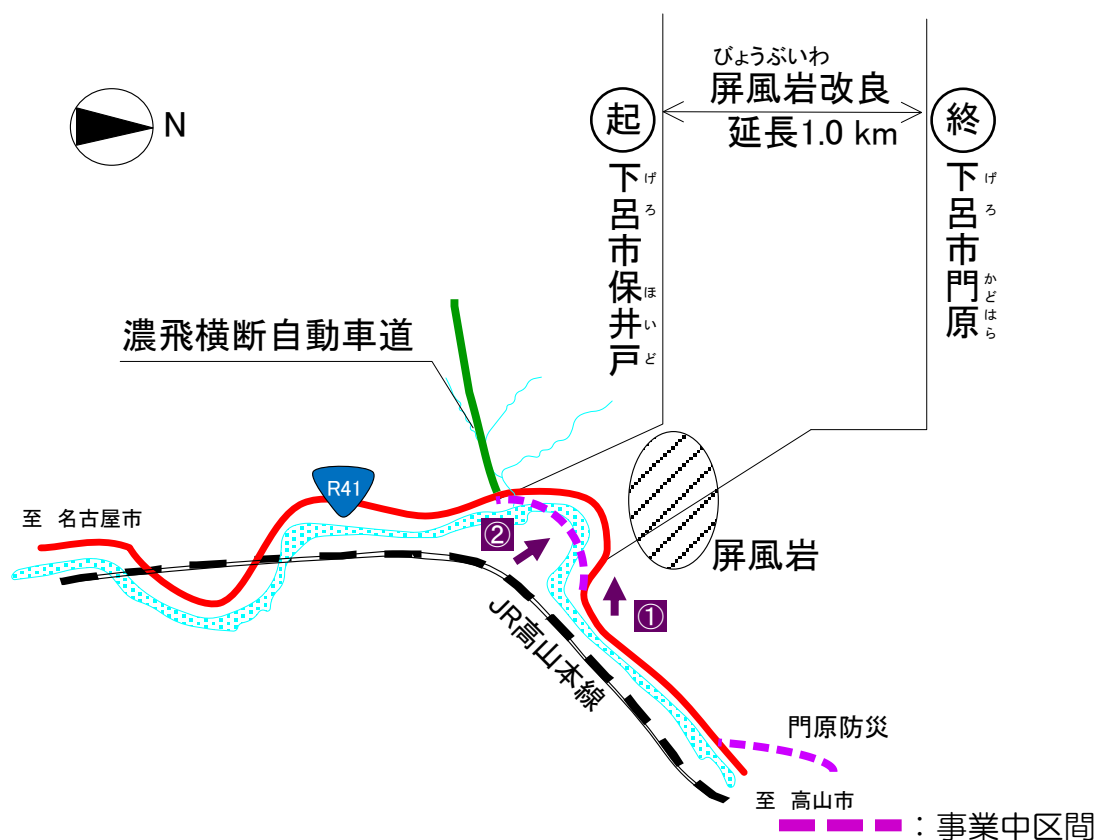
びょうぶいわ ■屏風岩改良

びょうぶいわ げろ ほいど げろ かどはら
屏風岩改良は、下呂市保井戸～下呂市門原間の延長1.0 kmの局部改良事業です。

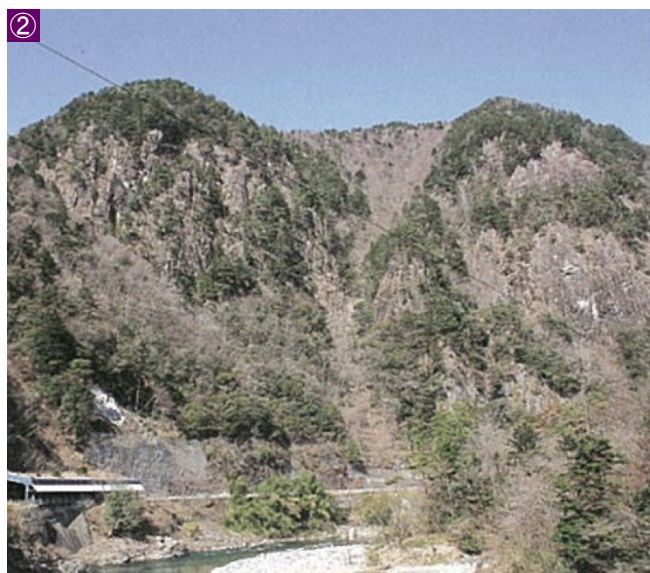
びょうぶいわ
屏風岩改良区間は、防災上危険な箇所があるため、災害が発生する可能性があります。

また、濃飛横断自動車道と下呂市街地を結ぶ重要な区間であり、防災上の安全性・信頼性を確保することができます。

本年度は早期開通へ向けて、用地買収、測量、用地調査、関係機関協議を推進します。



高山方面から名古屋方面へ
屏風岩を望む

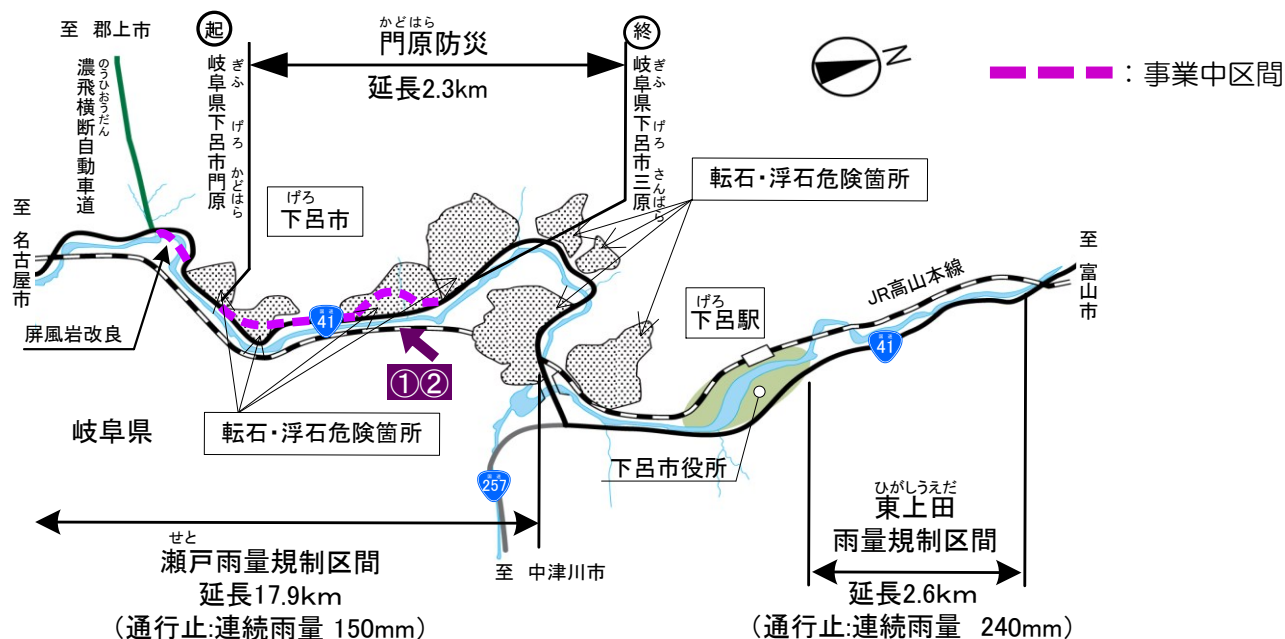


対岸から屏風岩を望む

かどはら げろ かどはら げろ さんばら

げろ かどはら

本年度は、早期開通へ向けて改良工、用地買収、用地調査、道路設計、トンネル設計、



平成25年11月27日に発生した
落石状況



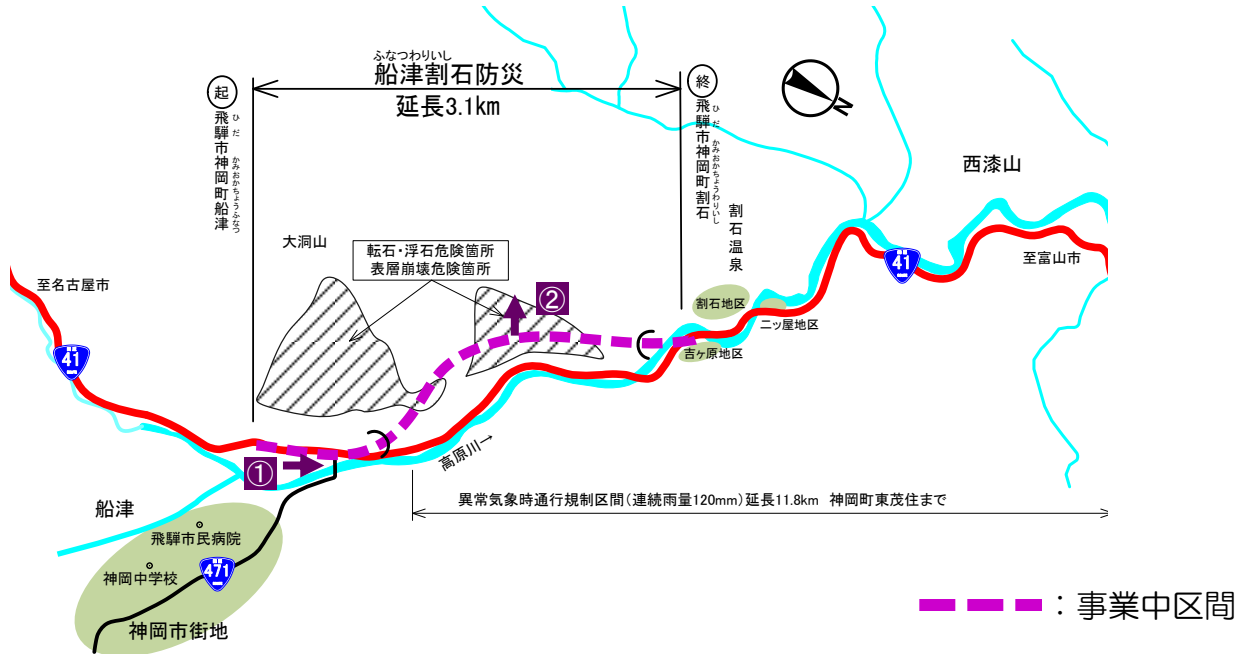
平成25年12月11日に実施した
落石除去の状況

ふなつわりいし
■ 船津割石防災

船津割石防災は、飛騨市神岡町船津～飛騨市神岡町割石間の3.1 kmの局部改良事業です。

船津割石区間では、平成25年7月に落石事故が発生するなど、防災上危険な箇所が多数存在します。整備により、防災対策箇所の回避や雨量規制区間を短縮することができます。

本年度は、改良工、用地買収、用地調査、道路設計、トンネル設計、環境調査、水文調査、関係機関協議などを推進します。



平成25年7月7日落石事故発生

転石・浮石等危険箇所状況

(2) 安全で安心に利用できる道路空間

交通事故が多発している区間及び地点について、事故防止対策として「事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）」を実施し、道路を利用される方々や沿道住民の皆様が、安心して安全に利用できる道路空間を目指します。また、街の景観の保全や地震・台風による電柱倒壊をなくし、安全性向上を目的とした無電中化を推進していきます。

① 交通安全対策

事故対策

整備前



整備後



【右折車線の設置】

右折車線が無い交差点部において、右折待ち車両への追突事故などを防止するため、右折車線を設置し、交通事故の削減を図ります。

歩道整備

整備前



整備後



【歩道設置】

通学路など歩行者の安全を守るため、歩道の新設、拡幅などの整備のほか、歩道の外側への転落を防ぐ転落防止柵の設置なども行っています。

登坂車線設置

整備前



整備後



【登坂車線設置】

国道41号では登り坂が数多くあり、無理な追い越しを防止し、交通事故の削減を図ります。

■中切付加車線

げろ かなやまちょう なかぎり

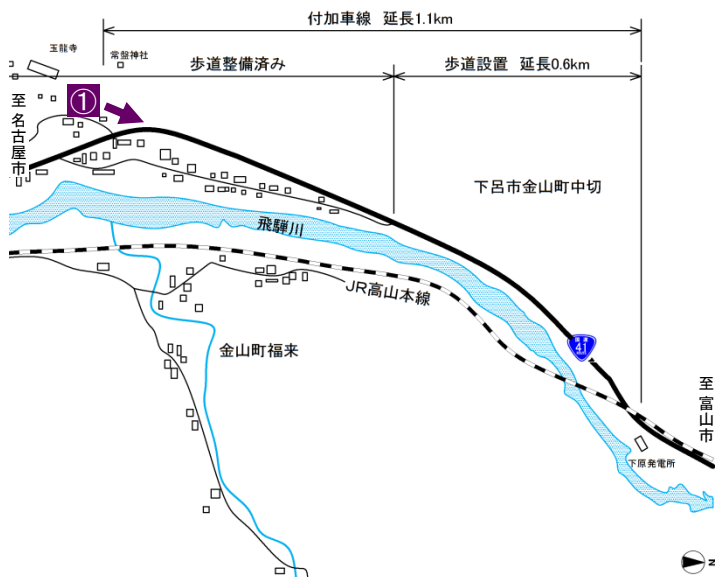
下呂市金山町中切地内において、付加車線の設置及び歩道整備を実施します。

当該箇所は大型車等の低速車両により、走行車両の快適性が低下しており、後続車の無理な追越し等による交通事故が発生し、付加車線の設置による、車両衝突事故の対策が必要となっています。

本年度は、該当区間において、調査設計を推進します。



低速車両を回避するため
後続車の無理な追越しが発生



■奥田洞歩道設置

おくだぼら

げろ はぎわらちょう おくだぼら

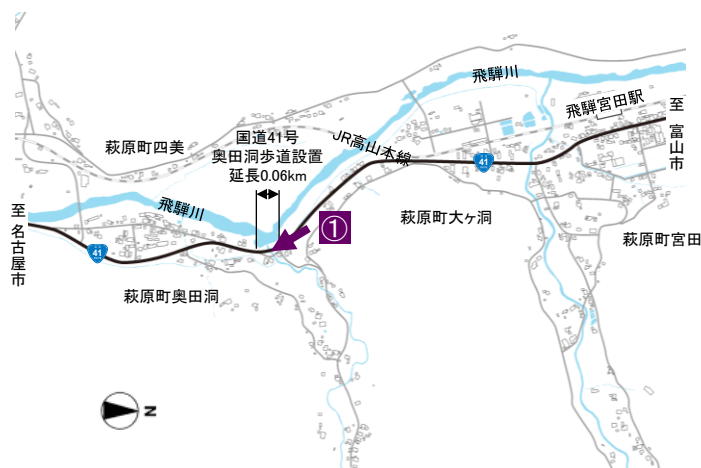
下呂市萩原町奥田洞地内において、歩道の整備を実施します。

当該箇所は、学校指定の通学路となっていますが、上り線側には歩道が未整備のため、地域住民の利用や児童の通学に支障をきたしています。上り線側に歩道整備を行うことで、歩道の連続性と利用者の安全な通行を確保します。

本年度は、該当区間において、工事を推進します。



上り線側は歩道未整備



■宮田歩道整備

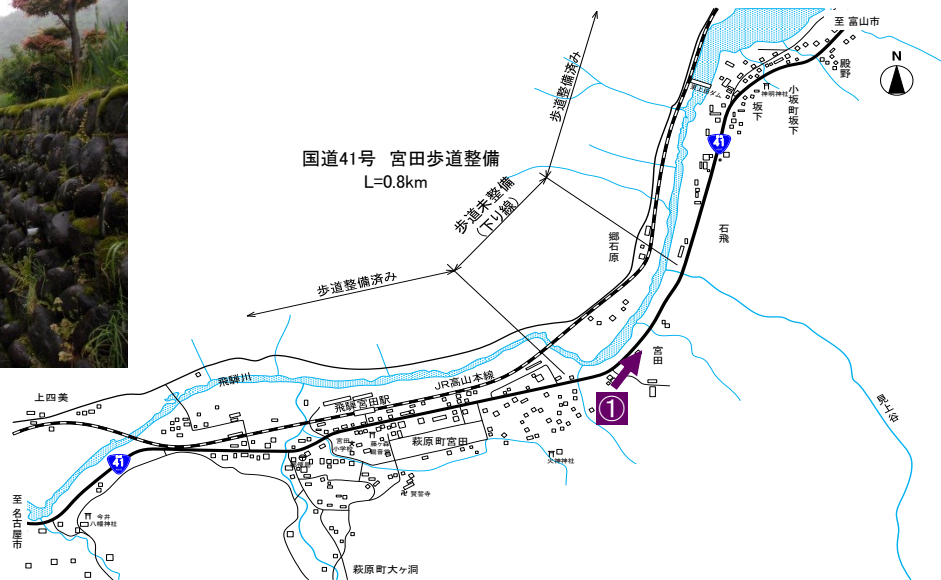
下呂市萩原町宮田地内において、歩道の整備を実施します。

当該箇所は、上り線側に歩道が設置されていますが歩道幅員が狭く、車両との接触事故が発生する恐れがあり、通行に支障をきたしています。下り線側に歩道整備を行うことで、歩道の連続性と利用者の安全な通行を確保します。

本年度は、該当区間において、調査設計、用地調査、用地取得を推進します。



狭い上り線側の歩道
(下り線側は歩道未整備)



■梨ヶ根登坂

飛騨市神岡町梨ヶ根地内において、登坂車線を設置します。

登坂車線の不連続区間を解消することで、低速車の無理な追い越しを防止し、交通事故の削減を目指します。事故や冬期にスタック車両が発生した場合、登坂車線を設置することで、交通の確保が図れます。

本年度は、該当区間において調査設計・用地取得・工事を推進します。



急勾配のため低速車両による
渋滞発生



そうごうちょうしゃくろ
■ 総合庁舎口歩道拡幅

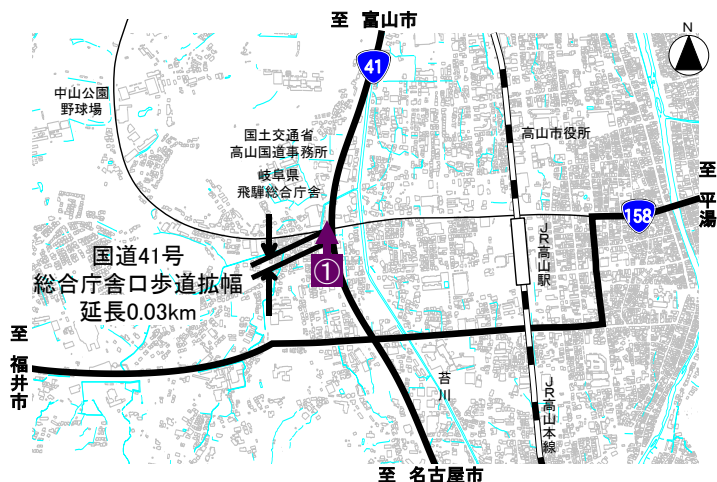
2019年度 新規事業化

たかやま かみおかもと

高山市上岡本町地内において、歩道拡幅の整備を実施します。

当該箇所は、学校指定の通学路となっていますが、地下道の上屋により車両からの視認性が悪く、交差点横断中の歩行者との接触事故が懸念されています。地下道を移設することで視認性の改善と、歩道の拡幅を行うことにより、安全な通学路を確保します。

本年度は、当該区間において、調査設計、用地調査、用地取得を推進します。



② 電線共同溝事業

ふゆとう

■ 冬頭電線共同溝

たかやま ふゆとう

高山市冬頭町において、電線共同溝の整備を実施します。

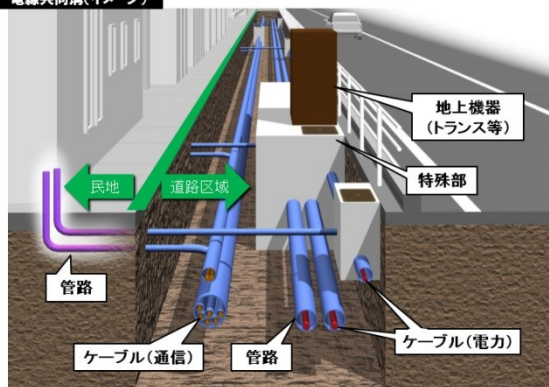
電線共同溝を整備し、無電柱化することで安全で快適な走行空間の確保ならびに、震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。

本年度は、該当区間において調査設計を推進します。



現在の建柱状況

電線共同溝(イメージ)



(3) 将来にわたるインフラ機能の維持

① 道路インフラの長寿命化

高度経済成長期に整備されてきた橋梁やトンネル等の老朽化が進み維持管理費の増大が予想されます。定期的な点検により、早期に損傷や劣化を発見し、大規模な修繕や更新に至る前に対策を実施し、長寿命化によるライフサイクルコストの削減を図るために、メンテナンスサイクルを推進します。



メンテナンス
サイクルの推進



自治体職員などへの支援

道路施設の老朽化が大きな課題となってきたなかで、地方公共団体は予算、人員、技術面で多くの課題を抱えているため、飛騨地域の自治体職員の道路施設メンテナンス技術力の向上を目的として、講習会の開催等による技術支援を実施しています。



② 道路インフラの維持

道路のパトロールによって発見された路面や道路施設の傷んだ部分は、安全・快適な通行ができるよう補修を行っています。また、除草や路面などの清掃を行い道路の機能を保持するように努めています。

■道路のパトロール

道路の状況を把握し、安全に利用できるよう、路面や道路付属物（防護柵、照明灯・標識など）に異常がないかパトロールを実施しています。
また道路の橋やトンネル、土を盛って作った斜面、落石危険箇所なども定期的に点検しています。



道路パトロールカー

■舗装修繕の様子



対策前



対策後



除草作業の様子



道路に空いた穴を埋める様子

③ 冬期道路交通への対策

飛騨地域は、積雪が多く寒冷な気候のため、ロータリー除雪車、除雪トラックなどを用いて除雪を行っています。また、雪崩の危険性のある箇所については、雪崩予防柵や雪崩を受け流すスノーシェッドなどの設置といった防雪対策も行っています。



ロータリー除雪車



除雪トラック



雪崩予防柵



スノーシェッド

除雪作業の様子

④ 道路インフラを安全に利用するための施設の整備及び保守

道路を安全に利用して頂くために、冬期の凍結防止剤散布装置などの維持管理用建設機械やトンネルジェットファン、道路冠水を防ぐポンプ設備などの道路管理用機械設備の整備・保守・点検などを実施します。



定置式凍結防止剤散布装置



トンネルジェットファン
〔トンネル内の有害物質を排気し
新鮮な空気を取り込む機器〕

⑤ 交通状況把握するための電気通信施設整備及び保守

道路利用者が管内の交通状況を把握するための道路情報板、管内の道路をリアルタイムで状況確認するためのCCTVカメラなどの電気通信施設の整備及び保全を実施します。



道路情報板



CCTVカメラ（管内の道路をリアルタイムで状況確認）



1-2-2 災害支援

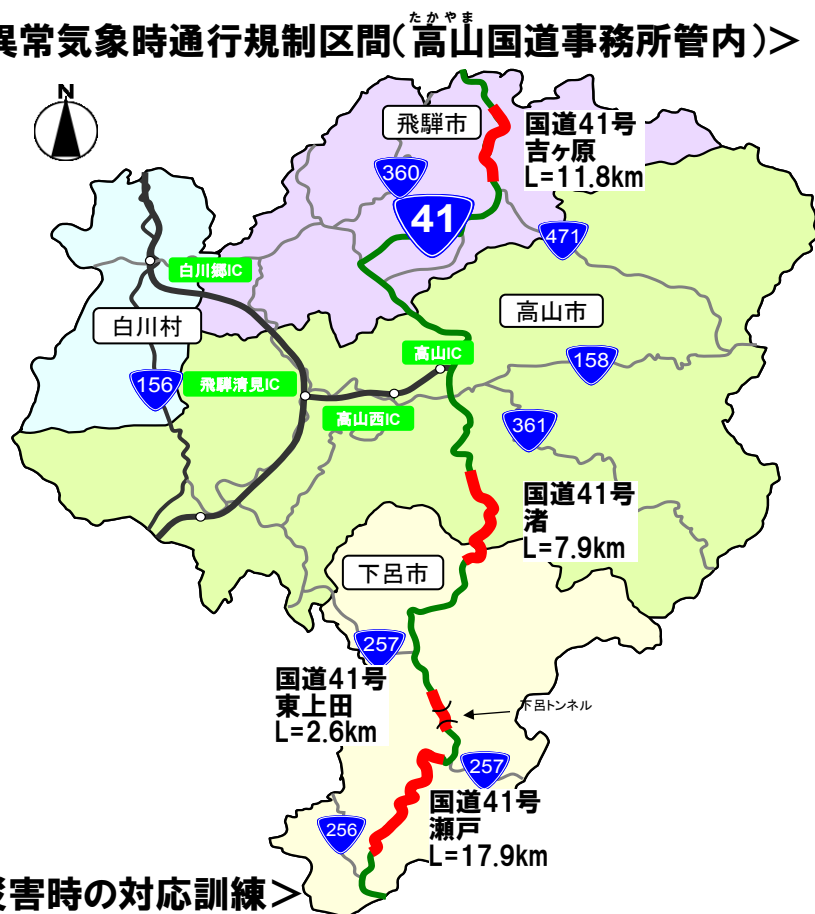
大規模な自然災害等に際して被災状況の把握や被災地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に進めます。

(1) 災害時の道路利用者の安全確保

大雨時の事前通行規制の実施

西日本を中心に襲った平成30年7月豪雨により、^{たかやま}高山国道事務所管内でも土砂災害が発生したり、高速道路や直轄国道など至るところで通行止めを実施するなど、長期間にわたり道路交通に甚大な影響を受けました。災害時の道路利用者の安全を確保するために、大雨時の事前通行規制の実施や災害対応訓練などを行っています。

<異常気象時通行規制区間(高山国道事務所管内)>



<災害時の対応訓練>



スノーロードによる被災車両の救出



国・県・市の道路管理者と警察が合同で実施した
人力移動訓練

(2) 災害時の地域支援

たかやま

高山国道事務所では、自然災害等に際して被災状況の把握や被災地方自治体の支援を行い、地域の皆さまの1日でも早く通常の生活に戻って頂くために、被災地の早期復旧のための地域支援を進めます。

<平成26年8月豪雨 孤立集落の解消に向けた早期復旧支援>

たかやま きよみ

たかやま

みやまえ

高山市清見地区と高山中心市街地を結ぶ路線において、2箇所の橋梁が流出しました。宮前橋の左岸にある集落では、3世帯が孤立しました。TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)による支援活動により、約10日間で仮復旧が完成し、孤立が解消しました。



宮前橋が落橋し、左岸3世帯が孤立



被害状況調査



10日間ぶりに孤立3世帯と地域のコミュニケーションが再開

<平成30年豪雪 福井県における除雪支援>

たかやま

平成30年豪雪は、北陸地方などに記録的な大雪をもたらしました。高山国道事務所からは除雪トラックを派遣し、福井県内の除雪支援を行いました。



除雪トラックによる立ち往生車両の牽引



除雪トラックによる除雪作業

<平成30年7月豪雨 下呂市における早期復旧支援>

平成30年7月豪雨により甚大な被害を受けた下呂市に中部地方整備局はTEC-FORCEを派遣し、河川、道路の被災状況調査を実施しました。



河川の被害状況調査(下呂市)



道路の被害状況調査(下呂市)



被害状況調査報告書の説明(下呂市)

1-2-3 「道の駅」による地方創生拠点の形成

平成5年の制度創設以来、現在では全国で1,134箇所（H29.11.17現在）に広がり、地方創生を具体的に実現していくためのきわめて有力な手段としてその重要性が高まっています。

「道の駅」を地方創生の拠点とするため、多言語に対応する案内など外国人観光案内所認定の取得、電気自動車（EV）による周遊観光を可能とするEV充電施設の設置、雨量規制時などの災害が発生した場合に対応する防災拠点化などの機能強化について関係機関と連携し、支援していきます。

<「道の駅」における地方創生拠点の形成へ向けた取組み>

「道の駅」が活力を呼び、

雇用を創出、
地域の好循環へ

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能
インバウンド観光の促進
地方移住等の促進



地域の元気を創る 地域センター型

地域の産業振興
地域福祉の向上
高度な防災機能

【日本政府観光局認定の外国人観光案内所】

飛騨街道なぎさ(カテゴリー1※1)

白川郷(パートナー施設※2)

【EV充電施設の設置】

設置済み:

桜の郷荘川、パスカル清見、ななもり清見、
飛騨街道なぎさ、白川郷、アルプ飛騨古川、
ひだ朝日村、南飛騨小坂、飛騨白山、
飛騨金山めく森の里温泉、馬瀬美輝の里、
宙ドーム・神岡

【無料公衆無線LANの設置】

設置済み:

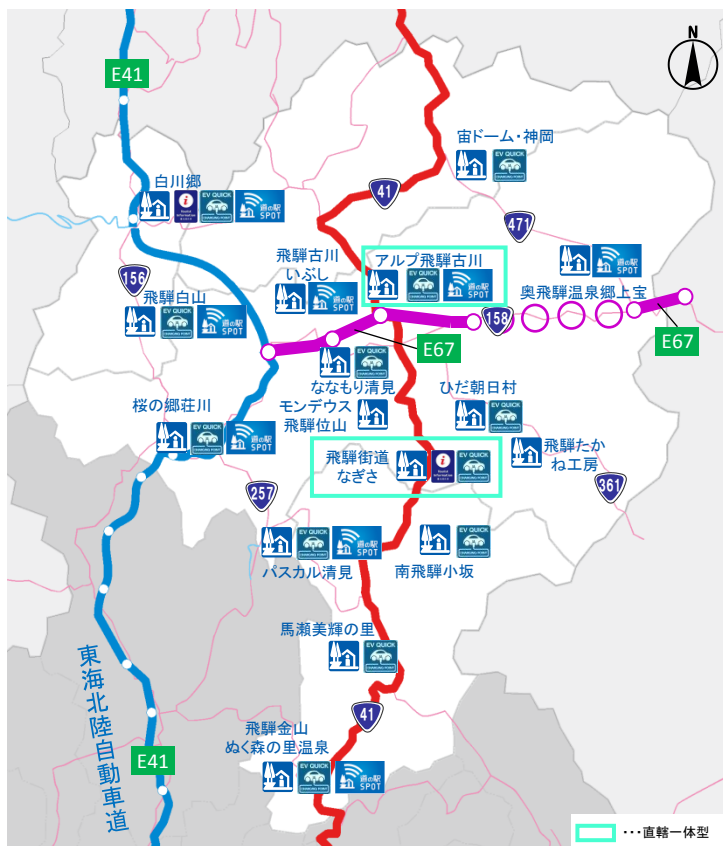
奥飛騨温泉郷上宝、アルプ飛騨古川、
飛騨金山めく森の里温泉、飛騨白山、
桜の郷荘川、パスカル清見、白川郷、
飛騨古川いぶし、アルプ飛騨古川



EV充電施設



無料公衆無線LAN



高山国道事務所管内の「道の駅」

※1: 常駐でなくとも何らかの方法で英語対応可能。地域の案内を提供。

※2: 観光案内を専業としない施設であっても、外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲があり、公平・中立な立場で地域の案内を提供。

2. 高山国道事務所の概要

2-1 高山国道事務所2019年度事業費

(単位：百万円)

路線名	事業名	延長	区間	事業費
国道158号 中部縦貫自動車道	たかやまきよみ 高山清見道路	24.7km	起：岐阜県高山市丹生川町坊方 たかやまきよみちやうなつまや 終：岐阜県高山市清見町夏廐	4,160
国道41号	いしうら 石浦バイパス	9.2km	起：岐阜県高山市久々野町久々野 たかやまちしまち 終：岐阜県高山市千島町	2,740
	びやうふいわ 屏風岩改良	1.0km	起：岐阜県下呂市保井戸 げろかどはら 終：岐阜県下呂市門原	40
	かどはら 門原防災	2.3km	起：岐阜県下呂市門原 げろさんばら 終：岐阜県下呂市三原	220
	ふなつわりいし 船津割石防災	3.1km	起：岐阜県飛騨市神岡町船津 ひだかみおかちやうわりいし 終：岐阜県飛騨市神岡町割石	240
交通事故重点対策事業				30
道路交通安全施設等設置事業				728
無電柱化推進事業				25

上記のほかに、管理する道路の維持修繕に係る事業費があります。

2-2 2019年度の事業内容

(1) 改築事業

高山清見道路 (中部縦貫自動車道)	高山IC～丹生川IC(仮称)間の早期開通を目標に、改良工、橋梁上下部工、用地買収、用地調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、関係機関協議を推進します。
石浦バイパス 1工区：宮峠トンネル	高山市久々野町久々野～高山市一之宮町間の2020年度開通を目標に、改良工、舗装工、環境調査、水文調査、関係機関協議を推進します。
2工区：宮高山バイパス	高山市一之宮町～高山市千島町間の早期開通を目標に、用地買収、測量、用地調査、トンネル設計、環境調査、水文調査、地質関係機関協議を推進します。
屏風岩改良	下呂市保井戸～下呂市門原間の早期開通を目標に、用地買収、測量、用地調査、関係機関協議を推進します。
門原防災	下呂市門原～下呂市三原間の早期開通を目標に、改良工、用地買収、用地調査、道路設計、トンネル設計、環境調査、水文調査、地質調査、関係機関協議を推進します。
船津割石防災	飛騨市神岡町船津～飛騨市神岡町割石間の早期開通を目標に、改良工、用地買収、用地調査、道路設計、トンネル設計、環境調査、水文調査、関係機関協議を推進します。

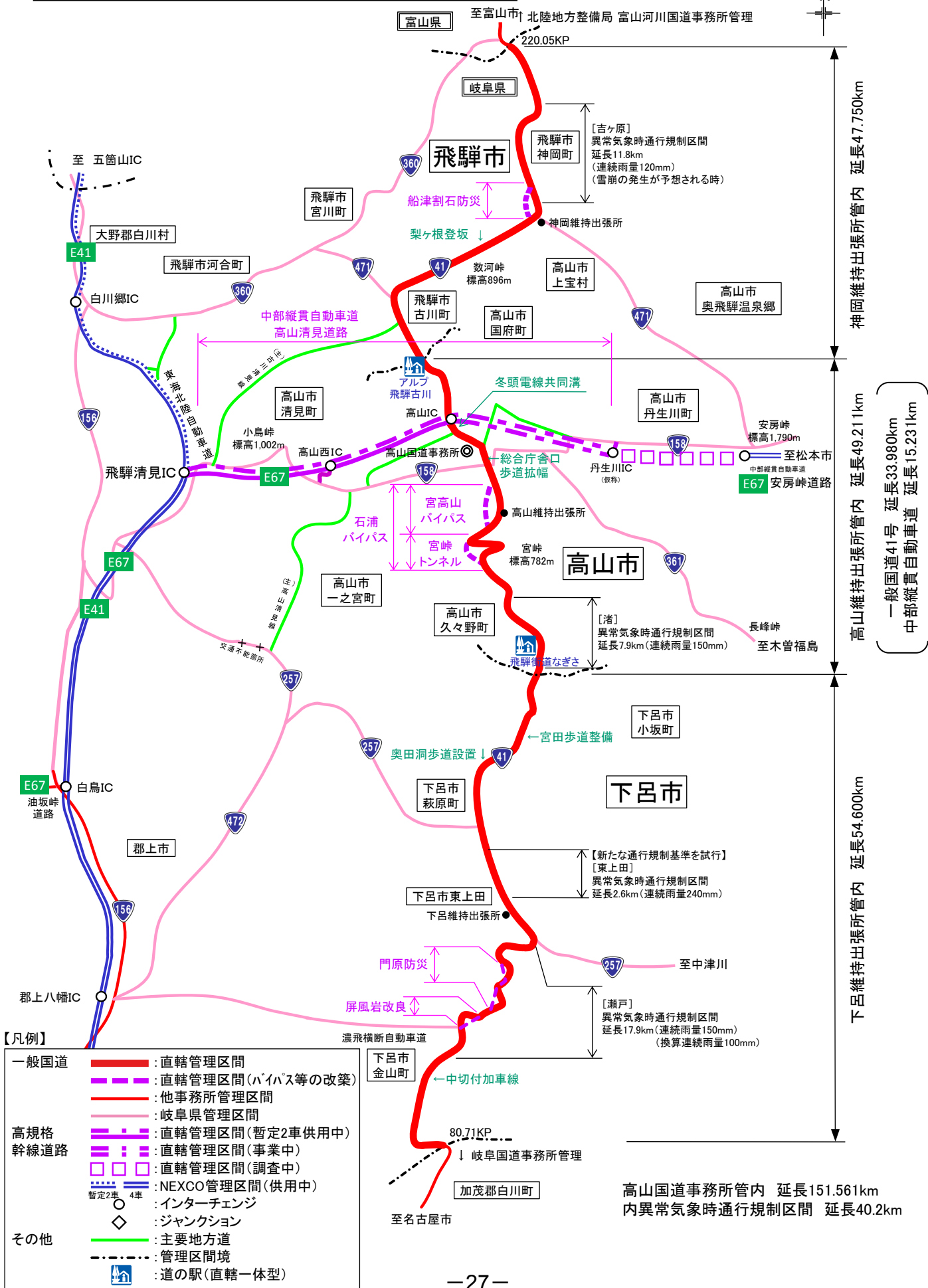
(2) 交通安全事業

国道41号 中切付加車線	：当該区間において、調査設計を推進します。
国道41号 奥田洞歩道設置	：当該区間において、工事を推進します。
国道41号 宮田歩道整備	：当該区間において、調査設計、用地調査、用地取得を推進します。
国道41号 梨ヶ根登坂	：当該区間において、用地取得、工事を推進します。
国道41号 総合庁舎口歩道拡幅	：当該区間において、調査設計、用地調査、用地取得を推進します。

(3) 電線共同溝事業

国道41号 冬頭電線共同溝	：当該区間において、調査設計を推進します。
------------------	-----------------------

2-3 高山国道事務所管内事業箇所



2-4 高山国道事務所の組織及び職員構成

組織及び職員構成



国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所
〒506-0055 高山市上岡本町7-425
管理第一課 tel 0577-36-3823 fax 0577-36-3841 (1F)
管理第二課 tel 0577-36-3824 fax 0577-36-3801 (3F)
総務課 tel 0577-36-3811 fax 0577-36-3828 (2F)
経理課 tel 0577-36-3812 fax 0577-36-3828 (2F)
工務課 tel 0577-36-3821 fax 0577-36-3801 (3F)
計画課 tel 0577-36-3822 fax 0577-36-3801 (3F)
用地課 tel 0577-36-3813 fax 0577-36-3801 (3F)
ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/>

高山維持出張所
〒506-0825 高山市石浦町1-274
tel 0577-34-3191 fax 0577-35-2468

神岡維持出張所
〒506-1111 飛騨市神岡町東町754
tel 0578-82-1166 fax 0578-82-6666

下呂維持出張所
〒509-2202 下呂市森851-1
tel 0576-25-4701 fax 0576-25-4702

道路緊急ダイヤル
tel #9910